広 報 NO35 特定非営利活動法人



発行日 2017年8月 発行者 NPO法人オアシス Tel 0533-69-0052

http://www.npo-oasis.com/

6月19日(月)午前10時、バイヨン中学校運動場。神崎恭紀先生による単元「楽しいサッカー」の授業の実践中、携帯デジタル温度計が44.8℃を示し、カンボジアにおける体育授業の過酷さと、それゆえにスポーツをすることの意義を感じさせられた瞬間でした。

これまでの理科・体育・音楽・家庭科に加え新たに浦野憲治先生の数学も加わり、高校進学に向けての学力向上に着手。また、塩津小学校から戴いた顕微鏡をフルに活用しての筧元江先生による「動物と植物の細胞」の授業等々、それぞれの先生方の指導技術の高さも相まって、支援いただいた教材・教具が具体的、有効的に活かされた今回の活動となりました。

※訪問日程 6 月 12 日~ 20 日 参加者 11 名 授業実践延時間数 41 時間 (体育 22 音楽 10 理科 6 数学 3)

〇体育授業 金田先生(養成校)



神埼先生 (バイヨン中: サッカー)





〇理科授業 筧先生



〇音楽授業 清水先生







〇数学授業 浦野先生







参加してみませんか!見てみませんか!

カンボジア交流 10 周年記念事業『蒲郡市市民企画公募まちづくり事業助成』 「あなたの生活・将来に、 きっと何かが芽生えます。」 【本件問合せ先】NPO 法人事務局 Tel0533 - 69 - 0052 支援活動現地協力者(敬称略) [JST 関係者] チア・ノル、小出陽子、 タウ・リー(以下通訳)、カン、サンボー 〔関西学院大学研修生〕豊田真椰、堀明音 〔現地在住者〕大滝智子、ク・リー(運転手) 〔ソルティーロ・アンコール FC 研修生〕平出直樹 カンボジアの中学生の生活を知るために午前5時にマット君(バイヨン中2年生)の家を訪問しました。農村の朝は4時にスタート。登校前の牛の世話、そして6時には登校。朝食は家では食べず、1時間目の放課時間に校内の売店で慌ただしく食べるなど、日本の中学生とはずいぶん違いの多い生活ぶり。(詳細動画http://www.npo-oasis.com/)

開校以来、バイヨン中学校では先進的な教育に取り組んできています。その一つが、地元寺院の協力を得てのパソコン教育の実施、今回2度目の修了証書授与式が挙行されました。 また、現地ではほとんど手掛けていない環境教育にも着手。私たちもこの推進に関わり、その教材の核となるトンレサップ湖の現地調査を実施。「地域に育つ、地域を育てる学校づくり」を目指し、これからも私たちオアシスの教育活動支援が続きます。

























カンボジアの子どもたち ・ 先生へ 「伸びよ!輝け!学校づくり募金」

募金:1口2千円 あなたの2千円で公立学校の無料登校の実現が,さらに中卒者の就職 の可能性を拓きます。

※国からの学校運営費は極めて少額で、小中学校では教材費・テスト代等の集金が日常化しており、このことが就学率を停滞させる原因にもなっている。

募 金 先:特定非営利活動法人オアシス 郵 便 為 替:00840-8-123690